

2019年8月5日

岡山県におけるブドウ向けネバリン展示圃について

日本肥糧株式会社

1. 目 的

樹勢の低下したシャインマスカットの成木及び新植後、生育の優れなかったシャインマスカット・ピオーネの若木にネバリンを施用し、その効果を確認する。

2. 成木における調査結果

- 1) 調査日：2019年7月30日
- 2) 場 所：岡山県井原市美星町
- 3) 生産者：O様
- 4) 品 種：シャインマスカット（定植6年目）
- 5) 施用量：ネバリンを樹の株元と周辺に10kg散布し（100kg/10a相当量）、軽く土壌と混和した。
- 6) 施用日：2018年11月15日
- 7) 結 果：樹勢が低下し更新を検討していた成木に対して、ネバリンを施用した。昨年は樹が弱っていた為、実を着けずに管理していたが、今年は樹勢が回復し、収穫に向けて実を着けた管理をしている。着果数が多いこともあり、やや粒が小ぶりに見えたが順調に生育していると感じられた。



(写真 1.房の様子)



(写真 2.副梢の様子)



(写真 3.試験を行った成木)

3. 若木における調査結果

- 1) 調査日：2019年7月30日
- 2) 場所：岡山県井原市美星町
- 3) 品種：シャインマスカット、ピオーネ（定植2年目）
- 4) 施用量：ネバリンを樹の株元と周辺に10kg散布し（100kg/10a相当量）、軽く土壌と混和した。
- 5) 施用日：2018年11月中旬
- 6) 結果：定植後1年間は、生育が鈍かった。定植2年目にネバリンを施用した。ネバリン区、無施用区どちらも問題なく生育している。どちらの品種もネバリン区のほうが新梢が良く伸長しているように見えた。また、葉が大きく、葉色も濃いように感じられた。



(写真4.ネバリン区の樹姿と新梢の様子 ピオーネ)



(写真5.対照区の樹姿と新梢の様子 ピオーネ)



(写真 6.ネバリン区の樹姿と新梢の様子 シャインマスカット)



(写真 7.対照区の樹姿と新梢の様子 シャインマスカット)

以上